

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7 年 3 月 21 日

ゆくはし療育支援センター おひさま教室

利用児童数

令和7年2 月 21 日 回収数 16

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	13	3		療育の様子を具体的に伝えてくださって良かった 保護者の思い生徒の思いが確認できたので良かった。どんな時にどんな行動を取ることがあるなど詳しく教えて頂けたので参考になりました。	わかりやすい伝え方などさらなる工夫をしていきます
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	1		専門的な話をしてくれた。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	2		相手の気持ちはわかりにくいので具体的にどうしたらよいか話して繰り返し、理解させるしかないと教えていただいたので参考になりました。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	14	2		話合うことで課題が明らかになったのでよかった まだ中々課題は多く解消するまでは時間がかかると感じました。色々アドバイスがもらえたので、少しずつ取り組んでいこうと思います 直接見解を聞かせていただくことで保育に取り入れやすかった。進路指導について迷っていたというところ適切な助言を頂き方向性が決まりスッキリしました。日々の保育関わり等を振り返る機会になり課題が明確になったり、軽減されたりしました。課題や困りごとは今のところないですが(本人が過ごしやすい様子の為見守っています)相談したいことがある時はさせていただきます。	利用児の思いやご家族の意向など踏まえながら訪問先とさらなる良い連携を行っていきます
5 事業所からの支援に満足していますか。	14	1	1	違う視点で話してもらえるのでよかった。これからもこのような機会があればと思います。ありがとうございました。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
訪問いただきありがとうございました。たくさんの助言がいただけて良かったです。また、定期的に訪問して下さると助かります。よろしく願いいたします。単発の訪問であり継続的な支援ではなかったため、評価が難しい。出来れば学期毎など定期的な訪問や情報交換などがあると嬉しい。訪問支援を少なくとも前期後期の2回程度設定していただくと、保護者と保育士の間で課題や成長について話しやすくなるのではないかと思います。出来れば今後このような連携が続けられるととても心強いです。お忙しいですが、宜しくお願いいたします。本園の保育活動においての支援方法を助言頂けると幸いです(集団の中のひとりとして)個別の支援方法には対応が難しい場面が多いため。学校での様子について情報を交換することを通して本人への関わり方について方向性を共有することが出来て良かったです。児童のこれまでのおひさま教室での様子や児童の特性等色々窺うことができて支援の仕方の方向性も分かりました。今後も児童の良い成長を目指して情報共有相談など出来たらいいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。今後とも色々教えていただきたいです。児童が利用している事業所様と情報共有出来ることは大変ありがたいことと思っています。特性上集団活動の中で怒りやすい困りごともありますので児童が過ごす様々な環境の違いや変化も考慮に入れながら連携していけることを願っています。中学→高校とより複雑な環境にむかっていかなければならないので連携することで少しでも役に立てる事があればよいなと思います。訪問されたときしかお話が出来なかったためその他は保護者の方から何をしているのかを聞き参考にさせて頂いています。具体的な指導案などあれば一緒に取り組めたかとも思います。〇〇くんのご訪問頂きありがとうございました。お子さんの特性を理解して保護者の方にも園での様子を伝えて頂き本人にとっても良い方向へと進むことが出来たと思います。今後ともよろしくお願いいたします 丁寧にお話して頂き対応もしっかりして頂いているためとても助かっています。療育での様子が少しでも園生活を表れて来ると良いです。これからとのことだったので、また情報共有をさせていただけるとありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。とても丁寧に新設に対応して頂きました。ありがとうございました。年長児での園生活で困りごとが出来たら相談させて頂けると助かります。お母さんの方から様子を伝えていただく場面が少ないため今回の情報の提供はとても助かりました。(たくさんの事を知りたいとは思わないため今の現状のままで良いと思っています。)				ご意見としては当該事業所の訪問について良い連携が取れたと感じて頂いた事については感謝しています。受け入れ先の訪問のご協力があったりして成立していく事業でありますので今後とも精進しながら利用児さまのよりよい社会生活の一助となりたくと考えています。訪問先のご意見として多数挙がっていた訪問回数につきましては、当事業所としましては定期的かつ継続的な訪問を行いたいと考えていますが、現段階では十分な人員確保ができておらず、当事業所の課題としております。1年間に複数回の訪問は難しいですが電話での連携などには積極的に対応させていただくようにしていますので、訪問先との連携を今以上にしながら利用児さまの集団生活のあり方などご家族、ご利用児童と一緒に考えていきたいと思っています。	